



中国财政科学研究院
Chinese Academy of Fiscal Sciences

経済の金融化とリスク管理

劉尚希

2017.11.11

目次

contents

- ▶ 一、経済の金融化は大きな流れ
- ▶ 二、経済の金融化はリスクプッシュの結果
- ▶ 三、債務危機の本質は資産危機
- ▶ 四、金融制度の再構築はまったなし



一、経済の金融化は大きな流れ

(一) 経済の金融化とは

1. 実体経済と金融は互いに融合し、経済の資本化あるいは資産化を誘発。
2. 貯蓄と投資の違いは次第になくなり、統計上の意味しかない。
3. 貯蓄も投資も手段に過ぎず、実現方法が異なるものの、目的はいずれも増殖。
4. 資本市場は従来考えられてきた仲介市場ではなく、投資増殖市場になっている。



一、経済の金融化は大きな流れ

(二) 表れ

1. 投資の金融化。増え続ける金融投資。
2. 資産の金融化。企業、家計の資産価値はバリュエーション次第。
3. 企業の金融化。収益源と本業の関係はますます薄くなっている。
4. 富の金融化。富のバーチャル化、例えば不動産。
5. 価格の金融化。リスクに基づくプライシング。
6. 取引の金融化。不動産、緑豆、大蒜のいずれも金融取引の対象になりうる。
7. 行動の金融化。企業の経営は商品から資本へ。



二、経済の金融化はリスクプッシュの結果

- (一) リスク経済、リスク社会の到来が背景。
- (二) 経済の金融化の内的ドライバーがリスク、リスクの拡大は経済の急速な金融化を後押している。
- (三) ウェルスリスクマネジメント需要が拡大、この需要に応える形で金融はリスク管理のサービスを提供。
- (四) 金融は経済活動の隅々まで浸透。



三、債務危機の本質は資産危機

- (一) 資産は目的、債務は手段。
- (二) 資産は債務より速く変動する。例えば住宅ローンによる物件購入。
- (三) 資産危機は債務危機を誘発し、バランスシート危機に繋がる。



四、金融制度の再構築はまったなし

金融制度は基本的な制度としてどう構築すべきか。金融のあり方を再認識する必要がある。経済発展の中で、最も重要なのは工業化、市場化と金融化。昨今デジタル化またはネットワーク化も加わった。デジタル化と相俟って、金融化のスピードは更に速まる。経済と金融の関係に大きな変化が生じた。本来金融は経済の媒体であるはずだが、現在経済は金融の媒体になった。

- (一) 貯蓄が投資に転換するを前提としたセオリーはもはや成り立たない
- (二) リスクと収益の関係をベースとした再構築が求められる



中国财政科学研究院
Chinese Academy of Fiscal Sciences

五、リスク管理は市場、政府の共通の責務

(一) 市場は市場リスクを管理

(二) 政府は公共リスクを管理

(三) リスク臨界点の転換



ご清聴有難うございました！